

「公共工事コスト削減対策に関する新行動指針」
【 施策名： (1)工事コストの低減 ②技術基準等の見直し 】

換気設備容量の低減に伴う受変電設備の統合

概要：換気設備容量の低減に伴う受変電設備の統合より、工費を削減した。

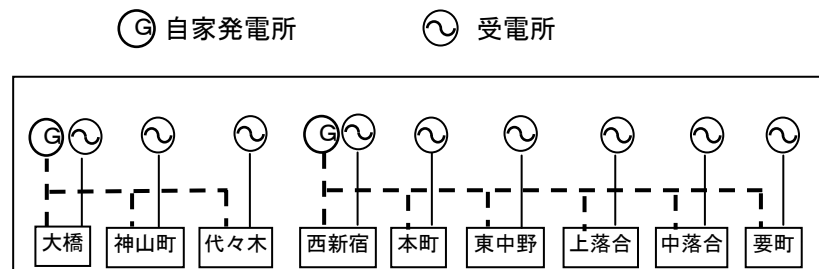
効果

換気設備容量の低減に伴い、受電所の統合(9箇所⇒5箇所)により、コストを削減できる。

コスト削減額 約 475,000,000円/箇所 × 4箇所 = 約 1,900百万円 減

コスト削減前

- ・新宿線9箇所の換気所全てに受電所を計画
(大橋、神山町、代々木、西新宿、本町、東中野、上落合、中落合、要町 計9箇所)



コスト削減後

- ・新宿線(当初)9箇所の受電所を5箇所に統合
(大橋、西新宿、本町、上落合、要町 計5箇所)

